

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月28日		記入者		内線	2554
部名	市民部	課名	国民年金課		課長名	河野量行
事務事業名	国民年金事務事業					
予算上の事務事業名	国民年金事務運営費(国民年金課分)					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11510		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります					
基本施策名	第5節 社会保険制度の充実に向けて					事業開始年度
施策名	第1施策 国民年金制度の充実に向けて					昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	国民年金法、国民年金市町村事務処理基準等					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	窓口・相談 ▼					
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)						(2) 対象(誰、何)
国民年金制度は、老齢、障害または死亡によって、国民生活の安定が損なわれることを国民の共同連帯によって防止し、健全な国民生活の維持及び向上に寄与することを目的とする。このため、市町村事務処理基準に従い適切な事務処理を行い、市民に対し制度の理解を深めていただくとともに、更なる制度の充実を国に要望していく。					市内に住所を有する20歳以上の人	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
国民年金課、戸籍住民課、12出張所で実施。 第1号被保険者の資格取得や喪失等の資格異動関係及び保険料免除申請書等の取り扱い件数 104,205件 老齢基礎年金等の裁定請求等の給付関係の取り扱い件数 910件 国民年金に関する相談						
6 関連・類似事業や他市の状況	法定受託事務であるため、他市でも同様に実施している。					
7 事業費の推移	[単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	35,688	34,400	42,265	50,724	50,724	
一般財源	0	0	0	0	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	35,688	34,400	42,265	50,724	50,724	
人件費の合計	126,689	168,210	178,347	170,277	170,277	
事業コスト合計(a)	162,377	202,610	220,612	221,001	221,001	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	国民年金事務事業			対象名称(単位)	取り扱い件数(件)	
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	162,377	202,610	220,612	221,001	221,001	
対象数	106,856	110,702	105,115	107,558	107,558	
単位あたり経費(円)	1,520	1,830	2,099	2,055	2,055	
前年度比		1.20	1.15	0.98	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	国民年金事務取り扱い件数 (件)	指標式と指標の説明		取り扱い件数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	106,856.0	110,702.0	105,115.0		
目標	0.0	0.0	0.0	107,558.0	107,558.0
目標達成度					
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	適正に処理された件数(%)	指標式と指標の説明		適正に処理された件数 / 取り扱い件数 * 100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
目標達成度					
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		国民年金制度は、将来にわたり安心して生活できる社会を実現するために、きわめて重要である。しかし、法定受託事務であるため、国民年金市町村事務処理基準に従い適切な事務処理を行い、市民に対し制度の理解と信頼を深めていただくことが大切である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 社会保険庁や各種協議会が主催する研修、庁内で実施する研修を通じて職員の資質の向上を図り、適切な事務処理を実施する。			14 課題として認識されたこと 国民年金制度に対する理解と信頼を高めることが重要であるが、1市だけでは限界がある。各種協議会等を通じて、制度の改革や充実を国に要望していく必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			